

令和6年度 羽咋中学校教育目標並びに教育方針

羽咋市立羽咋中学校

教育目標	校訓「気力・体力・学力」を基底とし、心身ともに健全でたくましい生徒の育成を目指す		
学校運営の柱	◎「羽咋中での全ての活動は、君たちの豊かな将来の生活や仕事につながる」を基本に、教科等における学びと社会とのつながりから自らの将来を展望し、学ぶ意欲を高めるキャリア教育を推進する。 ◎「時を守り、場を浄め、礼を正す」(森 信三)を学校生活の三原則とし、凡事徹底に努める。		
目指す姿	安全・安心な学校(学校像) ・生徒・教職員が共に目標に向かって努力し、生き生きと活動しながら成長できる学校 ・家庭、地域との連携を図りながら生徒を育て、適切な情報が発信される開かれた学校	たくましく生きる生徒(生徒像) ・ 気力 …思いやりと奉仕の心を持ち、最後まで成し遂げる粘り強さをもつ生徒 ・ 体力 …体と心を鍛え、心身ともに健全な生徒 ・ 学力 …主体的に学ぶ生徒	信頼される教師(教師像) ・生徒理解に努め、鍛えて生徒の可能性を広げる教師 ・豊かな人間性と深い愛情を持ち、確かな指導力のある教師 ・自己研鑽に励み、教師としての誇りを持ち、生徒とともに成長する教師

本年度の重点	「自ら為すべきことは当たり前にし、他から為されたことは当たり前と思わない」 当たり前のレベルを上げ、質の高さを求め続ける。 Reach Higher ～より高いところに到達する～		
(1) 学力向上(令和の日本型学校教育の実践)	指導力は徹底力		
① 「学習者主体の授業」の充実を図る。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した「羽咋中授業スタイル」の確立 ・複線型の授業を通して主体的に学ぶ生徒の育成及び教師の授業力向上		
② ICTの活用、少人数授業等によるきめ細かな指導で確かな学力の定着を図る。	ICT・数学・英語教育		
・対話的な学びを深めるICT器機の活用と「HAKUISM DivE」を踏まえた新しい授業の充実 ・「基本タイム」を深化させ、基礎基本の確実な定着を目指した学校全体の取組の推進			
(2) 豊かな心の醸成(学校運営の柱の徹底した実践)	人間性・思いやり		
① キャリア教育の視点を生かした授業改善により、学習や様々な活動に主体的に関わる素地を作る。	・全ての教育活動とキャリア教育の接続を明確にした計画的、意図的な活動の推進 ・「羽トーク」の継続と共感的な人間関係の育成		
② 学校生活の諸活動を「時を守り、場を浄め、礼を正す」実践の場とする。	凡事徹底		
・時間の意識・清掃・挨拶にしっかりと向き合い、自分を見つめる心の教育の推進 ・教科等の活動や特別活動等と委員会活動・学校行事との意図的・計画的なリンク			
(3) 保護者や地域のニーズに応えられる学校(生徒・保護者との信頼関係の構築に向けた実践)	信頼		
① 「子供のよりよい成長を目指す」という視点で保護者との信頼関係を構築する。	・生徒に対しては傾聴し、任せて見守る・保護者に対しては親身の対応 ・いじめ・不登校を生み出さない温かい集団づくりと日常的な未然防止対策と迅速な初動		
② ワーク・ライフバランスを意識し、仕事の効率化を図る。	短時間での成果 > 長く働くこと		
・業務の平準化と一人の教師に頼らない組織的な学校運営への参画意識 ・形骸化しない取組の推進による働き方改革(効率的な働き方に対する共通理解)と教師としての献身			